

「課題名：当院のロービジョン外来の現状の把握と評価」について

○ 研究の意義・目的

ロービジョン外来を受診する者は高齢者の割合が高いことが分かっています。またこれから高齢化社会になっていくにつれ、ますます需要は高まっていくと予想されますが、ロービジョンケアの認知度は低く、またロービジョンケアを行っている施設も十分ではありません。周囲の関心が高まれば、必要な方に必要な医療、支援の提供が行えるようになります。当院からも情報の発信を行っていくため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

2009年9月1日から2030年3月31日までに、広島大学病院眼科ロービジョン外来を受診された患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は眼疾患名、主訴、年齢、性別、視力、視野、ニーズ、処方・情報提供歴です（個人が特定出来る情報は転記しません）

以下の機関からアドバイスを受けますが、診療情報は本院のみで使用し、他機関に提供しません。

・奈良井眼科 研究責任者：奈良井 章人（研究結果の評価・アドバイス）

○ 研究責任者（試料・情報の管理責任者） 広島大学病院 教授 坂口 裕和

○ 研究期間 2017年6月5日（実施許可日）～2031年3月31日

利用開始予定日：2017年6月5日以降

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5246

広島大学病院医系科学研究科 視覚病態学 視能訓練士 佐藤佑二（担当者）